

公益財団法人 8020 推進財団

平成 29 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： 高齢者歯科健診事業
(介護保険利用者・元気高齢者を対象とした口腔機能向上・維持に関する事業)

2. 申請者名： 一般社団法人 東京都本所歯科医師会 会長 湯澤 伸好

3. 実施組織： 一般社団法人 東京都本所歯科医師会

4. 事業の概要：

要支援を含めた介護予防段階の方からデイサービス利用者を対象とし、段階に合わせた口腔機能の重要性・維持、向上を目的とした啓蒙活動を行う。

墨田区内の地域包括支援センターと連携し、介護予防段階の高齢者に対し、口腔機能の重要性・口腔ケアの啓蒙及び指導を行う。

またデイサービス利用者を対象に、個別の口腔内診査から相談・アドバイスなどを行う。

問診結果から嚥下機能低下の疑いがある方には、口腔機能健診を行う。

5. 事業の内容：

・地域包括支援センターにおける事業では、4つのセンターにおいて、講演会形式をとり口腔機能の重要性・口腔機能低下により起こる可能性のある疾病等を、本会が作成したスライドを見ながら説明する。また口腔・顔面・嚥下体操を全員で一緒に実施し、そのうえで質疑応答、口腔ケアの重要性を理解してもらった。4ヶ所合計 83 名の参加であった。

・墨田区福祉保健センターにおける健診事業はデイサービス利用者を対象に、口腔内診査を行い、個人相談・アドバイスをを行った。口腔内診査を実施していない施設利用者も含め、1日 20 名程度の方を対象に 5 日間、講演会形式で、口腔機能の重要性や、その機能の維持・向上を目的とした体操などを行った。

5 日間における健診は 60 人、講演聴講者は 100 名ほどとなった。

・介護施設における事業は介護老人保健施設『なりひらホーム』併設の、一般型デイサービス利用者、認知症対応型デイサービス利用者を対象に、嚥下機能に関するアンケートと施設職員による推薦から検診対象者を選定し、20 名を対象に口腔内診査、口腔咽頭機能検査・嚥下スクリーニングテストを行った。さらに一般型デイサービス利用者には口腔ケアの重要性や健口体操などスライドを見ながらの講演をおこない終了した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

各施設の協力により、介護予防段階の方からデイサービス利用者までを対象者としたが、重度の嚥下障害をもっている方に出会うことはなかった。

食べることに喜びを感じる高齢者は多く、どうすれば口腔機能を維持できるか知りたいと思う気持ちは、多くの方から感じられた。

介護の提供を受けている方、また口腔衛生が自立しているという方でも口腔内の衛生状況は不良の方が多い。

認知機能が衰え、意思の疎通が難しくなってしまった高齢者においては、本人への指導が難しい。

これらのことから多職種との連携を密にし、直接こちらが関われない時も口腔ケアが行われるようになってほしいと思われる。支援する側の人間を巻き込む必要性を大きく感じる。

今後、高齢者の増加を考えると検診以外に、介護従事者に対する啓蒙や講習、定期的なグループワークなどにより施設全体の口腔ケアの意識を向上させることが重要になると感じます。

また元気高齢者や軽度の要介護者に対してセルフケアの知識、方法を広く伝えていくことで数年後の結果に繋がっていくと思われる。